

令和3年度 国営事業評価技術検討会の答申

7月14日(水)に開催した令和3年度第2回国営事業評価技術検討会において、北海道開発局国営事業管理委員会が諮問した令和3年度国営土地改良事業等事業評価結果に対して、別紙のとおり7月20日付で国営事業評価技術検討会から答申がありましたので、お知らせします。

北海道開発局では、国営土地改良事業の効率性及び事業実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価(再評価、事後評価)を実施しております。

事業評価を進めるに当たっては、学識経験者など専門的な知見を有する第三者から構成される「国営事業評価技術検討会」を設置し、意見を聴取することとしております。

令和3年度第2回国営事業評価技術検討会の配布資料、議事概要については、北海道開発局ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

【ホームページの掲載場所】

北海道開発局トップページ >> 農業・水産 >> 主な取組 >> 事業評価 >> 再評価・事後評価

URL : https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_seeki/slo5pa0000007i7y.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

事後評価 : 農業水産部 農業計画課 事業計画推進官 田代 健介 (内線 5513)

農業水産部 農業計画課 負担対策専門官 岡村 充博 (内線 2068)

再評価 : 農業水産部 農業整備課 課長補佐 駒井 文広 (内線 5589)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和3年7月20日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹明

令和3年度国営土地改良事業等再評価結果について (答申)

令和3年7月14日付け北開局農整第73号により諮問のあった、令和3年度国営土地改良事業等再評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和3年度再評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
南長沼	<p>本事業は、水稲作を中心としつつ野菜等の生産を拡大し、新たな高収益作物の導入により農業経営の安定化を図ることを目的としている。本事業による区画整理及び排水改良などは、安定した収量と品質を確保するための基盤形成に必要不可欠と認められる。</p> <p>整備済みの大区画ほ場では、効率的な営農が行われている。また排水改良により大雨時の被害が抑制されていることに鑑み、完了に向け事業の推進に努められたい。</p> <p>事業の遂行にあたっては、コスト縮減に配慮されたい。また、周辺環境との調和に十分配慮するとともに、今後のモニタリングによる検証と対応が望まれる。</p>

令和3年7月20日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹明

令和3年度国営土地改良事業等事後評価結果について (答申)

令和3年7月14日付け北開局農計第49号により諮問のあった、令和3年度国営土地改良事業等事後評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和3年度事後評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
びっふ	<p>本事業及び関連事業の実施は、かんがい用水の安定供給による良質米の生産拡大に貢献した。また、かんがい用水配分の公平性の確保にもつながっていると評価できる。</p> <p>頭首工への魚道の設置は、魚類の生息環境を改善した。また、用水路の暗渠化が地域住民の生活環境や営農作業の安全性向上に寄与している。</p> <p>用水施設の整備が水管理労力等の軽減を促し、経営規模の拡大やクリーン農業、6次産業化などへの取組みが進むなど、地域農業の振興にも貢献している。これらの成果を支えていくためには、更なる管理の省力化にも留意した計画的な更新整備と同時に、地域農業を担う若手農業者が限定されていることから、作業受託組織の利用推進等、労働力支援策も講じていくことが望まれる。</p>
なかがわ	<p>本事業による排水機及び排水路の整備は、湛水被害の解消に伴う作物生産量の増加、農作業の効率化に貢献した。加えて、経営規模の拡大や野菜類の生産拡大に寄与し、良好な農業生産基盤の形成は、関係機関が一体となって進めるデントコーンサイレージ製造・販売事業の展開や担い手の確保、新規参入者の受け入れ、6次産業化の推進につながったと認められる。</p> <p>また、地域の資源環境に配慮した整備は、魚類の生息環境や農村景観の保全に貢献していることも評価できる。</p> <p>本事業で排水路として整備された旧川は、多様な生物の生息・生育環境や農村景観などの貴重な地域資源として保全・管理されることが望まれる。</p>